

事業番号	09 04 06	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	畜産振興事業	部局	農政部 課・室 園芸畜産課

## 1 現状と課題

- ・本県の畜産は、従事者の高齢化が進み、農家戸数・総飼養頭羽数ともに減少傾向となっているが、1戸あたりの飼養頭羽数は増加している。
- ・また、畜産経営は、経済情勢や消費者の生活防衛意識等の影響により生産物価格が不安定になっているほか、輸入飼料価格が高止まりするなど、外的要因により経営に大きな影響を及ぼしており、持続可能な畜産経営の展開のため、国産飼料の利用拡大等が課題となっている。

## 2 事業目的

経営規模や県産飼料生産の拡大、省力化技術の導入を推進するとともに、飼養衛生管理基準の遵守を徹底することで、畜産経営の生産性を向上し、県産畜産物等の安定供給を図る。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ① 畜産の生産性と収益力の向上

- ・耕畜連携による飼料増産や高品質な堆肥生産を支援
- ・飼料として利用できる未利用資源の利用拡大を推進
- ・生産性を向上させるスマート農業技術の普及
- ・畜産経営の効率化、収益性向上のための施設整備を支援



信州あんしん農産物[牛肉] 生産農場認定証

Standard

農場名  
代表者名  
住所  
取りまとめ団体

農場は、信州あんしん農産物[牛肉]生産農場認定制度実施要領第4及び第5の規定により、生産農場であることを認定します。  
令和 月 日

長野県知事 阿部 守一



耕種農家と連携した飼料生産

安全安心な農場を認定



### ② 個性ある高品質な畜産物のブランド力の向上

- ・信州プレミアム牛肉など高品質な牛づくりの推進
- ・県オリジナル地鶏ヒナの安定供給
- ・豚液状精液の安定供給

### ③ 消費者に信頼される安全・安心な生産体制の確立

- ・農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし –: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由	
			実績	実績	推移	見込	推移	実績			実績	実績
①	乳用牛の1戸あたり平均飼養頭数	頭	58.6	58.6	→	59.0	↗	59.0	↗	↗	第4期長野県食と農業農村振興計画における達成指標（令和3年度：52頭→令和9年度：60頭）に基づき、4年目である令和8年度は59頭を目標値とする。	
② ③	信州プレミアム牛肉の認定率	%	69.8	72.2	↗	70.8	↘	71.9	↗	↗	直近3か年の平均認定率増加量（1.1ポイント）を維持することを目標とする。※R7年度事業点検シートに記載したR6年度実績が誤っていたため修正しました（修正前：71.2、修正後：72.2）	

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況			目標				
				年/年度	数値	年/年度					
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346 (県推計)	2027 (R9)	3,700

## 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度継越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	2月上旬公表予定		0			13.67
	要求	661,135		661,135	11,634		
R7年度	956,485	124,569	0	1,081,054	218,260		13.67
R6年度	936,974	185,397	521,478	1,643,849	272,199	472,780	13.67

事業番号	09 04 06	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	畜産振興事業	部局	農政部 課・室 園芸畜産課

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	農業制度資金利子補給等事業	492 千円	427 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 354 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	畜産特別資金利子補給事業	補助金	畜産特別資金等借入農家の負担軽減のための利子補給及び経営改善指導を実施 利子補給対象件数 8件	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	地域畜産対策事業	145,768 千円	78,870 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 619,668 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	飼料増産と堆肥活用の促進	直接 委託	・耕畜連携による飼料増産体制の強化 ・優良品種の導入や草地更新による自給飼料の単収及び品質の向上 ・高品質な堆肥生産に向けて、安定生産の仕組みづくりを支援 耕畜連携による飼料生産 4か所、草地更新等の実証ほ 2か所	
2	畜産振興施設の整備	直接 補助金	畜産経営の効率化、収益性向上のための施設整備を支援 整備箇所数 5か所	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	畜產物流通安定対策事業	2,933 千円	3,712 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 2,997 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	肉用子牛価格差補てん金の造成	補助金	肉用子牛の価格下落時に交付する価格差補てん金（肉用子牛生産者補給金）の財源となる積立金の造成を補助 県の積立金による造成額 2,227千円	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	食肉流通対策事業	470 千円	598 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 598 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	食肉流通推進事業	直接	松本食肉施設の閉鎖に伴う影響を緩和するための取組等を関係者と協議 検討会議 2回開催	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	乳用牛対策事業	6,480 千円	9,387 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 9,103 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	牛群検定データの分析及び情報提供	直接	乳量・乳質の向上を図るため、牛群検定情報の分析加工と情報提供を実施 牛群検定頭数3,000頭	
2	バルク乳全戸検査及び牛群ドックの実施	直接	・搾乳衛生の改善等を図るため、バルク乳を用いて細菌検査及び牛ウイルス性下痢症検査を実施 ・牛群ドックとして血液生化学検査や飼料給与診断を実施 牛群ドック実施農家数50件	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	家畜振興対策事業	29,254 千円	31,575 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 28,415 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	種畜検査の実施及び家畜人工授精師の養成	直接	・家畜改良増殖法に基づき、優良な雄の家畜を確保するための検査を実施 ・次代を担う技術者を養成するため、講習会を開催 家畜人工授精師養成講習会 1回	
2	農場の衛生検査	直接	県産牛肉の生産及び消費拡大のため、農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施 信州あんしん農産物（肉牛）生産認定農場検査件数144件	
3	県オリジナル地鶏の生産体制の整備	直接	こだわりある地鶏の生産振興に向けて、畜産試験場で開発した「信州黄金シャモ」及び「長交鶏3号」の素ヒナを供給 県オリジナル地鶏の素ヒナ供給 23,600羽	
4	肉用牛の改良及び信州プレミアム牛肉の生産体制の強化	直接	信州プレミアム牛肉の認定率向上に向けて、遺伝的に高い能力が期待される受精卵の配布等を通じて、認定要件の一つであり、脂肪の質に影響を及ぼすオレイン酸含有率に着目した改良を推進 畜産試験場における牛受精卵の生産 100個	
5	信州こだわり豚肉の生産体制の整備	直接	信州こだわり豚肉の生産振興に向けて、こだわり豚肉生産に必要な液状精液の配布を実施 信州こだわり豚肉生産用の液状精液配布 1,800本	